

「町田市中心市街地整備構想」策定に伴う報告会 【要旨】

日 時 2014年3月6日（木） 午後7時00分～午後8時30分

会 場 町田市役所 2階 市民協働おうえんルーム

出席者 25名（自治会、町内会、商店会、大規模店舗の各代表者）

〈次第〉

1. 「町田市中心市街地整備構想」策定のご報告
2. 意見交換

町田市中心市街地整備構想について以下のように意見をいただきました。

〈主な意見〉

■町田市中心市街地整備構想について

- ・整備構想の方針図では森野住宅に拠点の印が入っているが、その経緯を聞きたい。
→将来的に団地再生を検討すべき区域としてここにあげさせていただいた。
- ・エリアマネジメント組織の設立とあるが、どのようなメンバーを想定し、何をやるのか。
→具体的な内容は今後検討を進めていく予定。
- ・エリアマネージメントはエリアを考えているのか、街を考えているのか。ぜひタウンマネージメントを行う組織を発足させてほしい。

■中心市街地の回遊性について

- ・文学館通りは、版画美術館（芹ヶ谷公園）へ続く通りであるが、回遊性ということでは歩きにくい。標識もわかりづらい。
- ・原町田大通りが整備されたことによりまちが分断された。特に高齢者にとっては、歩きにくくなった。

■中心市街地の商業について

- ・商業の競争力を上げるには、ファッションなどの雑居ビルを優先的につくってはどうか。
- ・商店街を活性化するために、空き店舗に助成をして店を出店させてはどうか。
- ・若い人がチャレンジできる貸しオフィスをつくるのも良い。
- ・面白い店がなくなったため、中心市街地の賑わいがなくなった。メインストリートも、買い物をできる店がない。これからはもっと商店街がオーナーに対して、例えば業種などについて働きかけるべき。

■ 中心市街地の賑わいについて

- 原町田二丁目の話が全く出てこない。新たな視点からの考えは無いのか。
- 町田を通過点としないで交通結節点とするためには、町田で働いてもらうといった発想をしないと活性化ができない。
- 中心市街地から芹ヶ谷公園へのアクセスは吉祥寺から井の頭公園への流れに似ている。まちづくりの参考になるのでは。
- 若い世代がまちのブランド力を向上させると思う。まちづくりには若い人の力が必要。
- 箱モノをつくれれば何とかなるという発想は中心市街地の活性化につながらない。まちに関わる様々な人々を含め、この街をどのように売り出すのかというプランをつくるべき。郊外のショッピングセンターから消費者を取り戻すためには、仕掛けが必要だろう。
- 町田市中心市街地整備構想の整備方策に、文化機能の導入という話が出てくるが、今の市民ホールよりも少し大きなホールが必要だと思う。
- できればコンサートホールに近い施設をつくってもらいたい。
- 街には働く人もいる。どのような企業を誘致するのか、市で調査するとともに、それに伴う道路整備も必要である。